

SOCCER TOCHIGI COMMUNICATION MAGAZINE

SOCCER TOCHIGI

(社) 栃木県サッカー協会事務局

〒320-0834 宇都宮市陽南2-12-19
TEL 028-684-6900 / FAX 028-684-3330
URL <http://www.tfa.or.jp/>

発行責任者：森山眞弓



vol.77

平成22年2月10日発行

contents

- ① めざせ 栃木から全国へ！
- ② ごあいさつ / S級ライセンス研修レポート
- ③ JFA殿堂入り祝賀会
- ④ JFLの舞台へ
- ⑤ サッカーファミリーフェスティバル2009
- ⑥ POCARISWEAT U-12サッカーリーグin TOCHIGI
- ⑦ 海外遠征 / 第38回栃木県少年サッカー選手権大会
- ⑧ 河内SCジュベニール・井上選手U-14日本女子選抜に
- ⑨ 宮川亮子選手 日本代表に
- ⑩ 審判委員会からのお知らせ
- ⑪ 24時間マラソンサッカー
- ⑫ 生涯スポーツ優良団体受賞
- ⑬ TFAユースサッカーリーグU-18栃木2009 1部・2部リーグ結果
- ⑭ TFAユースサッカーリーグU-18栃木2009 3部リーグ結果
- ⑮ TFAユースサッカーリーグ栃木2009-2010 (前期) 参加チーム
- ⑯ 賛助会員 / 編集後記



めざせ 栃木から全国へ！

栃木サッカークラブ 悲願のJリーグ昇格

日立UVASC JFL昇格決定

ヴェルフェたかはら那須 関東リーグ(2部)優勝

FAIR PLAY PLEASE  フェアプレイを心がけましょう

ごあいさつ



社団法人 栃木県サッカー協会長 森山 眞弓

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆さんは、それぞれに思いを新たにしていることと思います。本年も皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

さて今年、W杯南アフリカ大会が6月に開催されます。ご承知のように、世界の各大陸からの代表チームが一堂に会し、頂点を目指して、覇者を決める世界最大のイベントです。日本代表チームの活躍を今から心待ちにしています。

一方、県内に於いては、昨年栃木S Cが、本県にとって初めてJリーグへ参戦致しました。栃木ウーヴァFCがJFL昇格を果たし、ヴェルフェたかはら那須は、関東リーグ2部優勝、また、先の全国高等学校サッカー選手権大会では、矢板中央高等学校がベスト4という本県にとって、24年ぶりの輝かしい成績を残されました。これもひとえに、指導者・選手の皆さんの努力は勿論のこと、関係者各位のご協力のおかげであると感謝申し上げます。

終わりに、本県サッカー界が、益々発展することを願っています。これからも引き続き関係各位のご支援ならびにご協力をお願いし、ご挨拶と致します。

S級ライセンス研修レポート

地域活性化Gテクニカルディレクター

兼アカデミーディレクター

上野 優作

昨年末で引退し13年間の現役生活を終えた私は、2009年、栃木サッカークラブの地域活性化グループに籍を置いて県内外の育成の現場を広く回る活動をしてきました。加えて、S級ライセンスを取得するために8月下旬から11月末までの3ヶ月半の講習会に参加してきました。



左から松原氏・松波氏・城氏・大平氏（流经大コーチ）
・上野氏・森山氏

その中で、多くの元日本代表選手、元Jリーガー、日本サッカー協会のスタッフとかなり奥深いディスカッションを重ねることができました。ここで、常に僕の頭にあったことは日本と海外の比較はもちろん、日本全国と栃木県との比較です。3ヶ月半の間、栃木のサッカー界がさらに発展するには何が必要かを常に考えながら参加していました。そこで私個人の観点で栃木県のサッカー界を分析した結果を2つ述べたいと思います。ひとつは、『栃木には素晴らしい選手を輩出する可能性がある』ということ。もうひとつは、『子どもたちの表現力の乏しさ。』です。

私はクラブのアカデミーディレクターとして、5月にJリーグのアンダー14選抜の選考会を観てきました。栃木S Cジュニアユースの安部翔選手はキックの精度が高く、他のJクラブの関係者からかなりの高評価を受けていました。他にもジュニアユースには能力の高い素晴らしい選手が何人も在籍しています。また、栃木S Cユースも個々の能力が高いうえ、チームとしても面白いサッカーをするという評価をたくさんもらいました。栃木S Cジュニアも同様な評価を得ました。これは今まで長きにわたって熱心な指導を行っていただいた、県内の

長きにわたって熱心な指導を行っていただいた、県内の多くの指導者の成果だと改めて感じました。具体的には、忙しい時間を割いての日々のトレーニング・週末の公式戦やトレーニングマッチ、また地域のトレセン活動等、まさに栃木のサッカー界の基盤づくりが整備されつつあります。よって、栃木県には可能性を秘めた選手がたくさんいますし、この先もそういった選手がたくさん現れることを期待したいと思います。

しかし、その才能を開花させる働きかけを指導者ももっとしなければ、あるいは、選手自身が道を切り開かなくては日本を代表する選手の輩出は難しいと感じました。なぜかという、サッカーにおいて必要な『選手の自立』が他県と比べ遅いのではないかと、いうことです。私が今年関わったのは、栃木SCのアカデミーに加えて、県内6ヵ所の栃木SCスクール、宇都宮トレセン4種・3種、栃木県トレセン4種、キッズプロジェクト、サッカー以外にも多くの小中学校を訪問し、一緒にサッカーを楽しみ、時には講演活動をしてきました。その中で子どもたちが非常に消極的であるという印象を受けました。特に自分を表現することが苦手です。中にはかなり積極的な児童生徒もいましたが、全体的な印象です。もともと栃木県の選手は引っ込み思案だといわれていますし、私も昔からよく言われてきました。これはサッカーにおいて極めてマイナスな要因ではないでしょうか？サッカーは自分で観て、聞いて、判断し、実行するスポーツです。そして仲間とのコミュニケーションが重要です。例えば味方に対する指示。インターセプトを狙うために、味方にボールの出所を規制させる指示を出す。あるいは、味方・相手の動きの変化を観て自分も動き、自分の動きに責任を持つ。ここが非常に苦手ではないかという印象を受けました。サッカーはボールを蹴る・ドリブルする・シュートするという分解されたスポーツではありません。チームあるいはグループで相手のゴールを奪い自分のゴールを守るというゲームです。ボールを使ったコミュニケーションゲームです。日本サッカー協会は、『コミュニケーション能力を磨くことで選手・指導者のレベルアップを図る。』ことを、日本

が世界のトップ10を目指す上で必要なことだと位置づけています。よって、コミュニケーションスキルの講義は、指導者養成コースの中でも多くの時間が割かれています。



指導実践中の上野氏

栃木県のサッカー界も、もっとここに働きかけたいかがでしょうか？可能性ある選手に自立を促す指導を更に増やしましょう。観て聴いて判断させる指導を低年齢から実行すれば必ず自立できる選手が育つはずです。達成できたことや判断して実行したことを褒め、できるのにさぼったことには厳しく対応し、必ずいい選手に育つことを信じましょう！『いい選手だけど、もっといい選手になれる！』この『もっと』を強調し、選手の質の向上に常に働きかけていくことが重要です。

県内の多くの指導者のおかげで素晴らしい原石がごろごろしている栃木県サッカー界。この原石の磨き方をもうひと工夫して、ぜひ世界に通用する選手を育てましょう！

『褒めて信じて伸ばす。』これから指導者として生きる私のぶれない指導指針です。

JFA 殿堂入り祝賀会

12月6日、宇都宮市内のホテルにて、(財)日本サッカー協会殿堂入りをした丸山義行氏と松本育夫氏の殿堂入り祝賀会を行なった。

当日は、福田富一栃木県知事をはじめ県内各地のサッ

カー関係者、両氏の母校である今市高校、中央大学、宇都宮工業高校のOBら総勢147名の出席のもと盛大に行なわれた。

丸山・松本両氏のサッカーにかける情熱、地元「栃木」に対する思いを熱く語られ、これからの栃木県のサッカー界に期待を寄せていた。



前列左より森山眞弓会長・丸山義之氏
・松本育夫氏・福田富一知事

JFLの舞台へ

総監督 三関 隆

1947年に日立アプライアンス株式会社事業部を母体とした企業クラブ日立栃木サッカー部として活動を開始した。

2006年には、チーム所在地である栃木県下都賀郡大平町の特産物「ぶどう」を意味する「ウーヴァ（UVA）」をクラブ名に加え日立栃木ウーヴァスポーツクラブとして、関東リーグの優勝とJFL参入という新たな目標に向かい活動を展開し、2009年シーズンに見事JFL参入を果たした。

今後は、運営組織を「特定非営利活動法人栃木アマスタスポーツクラブ」へ移行し、企業クラブから市民クラブへ、企業からNPO法人へと形を変え、新たな挑戦に向けて、「栃木ウーヴァフットボールクラブ」として、

地域密着を基本理念として、新生「栃木市」を中心とした県南地域の人たちに「夢・希望・感動」を与えることのできるサッカークラブを目指します。



NPOたかはら那須スポーツクラブ

クラブマネージャー兼理事 稲若 健志

NPOたかはら那須スポーツクラブは矢板市を中心に総合型地域スポーツクラブとして活動しています。サッカー種目は多世代クラブを目指し男子は幼稚園・小学生・社会人の3チーム、女子は中学生から社会人までの1チームの計4チーム。さらに子供から大人まで楽しんでもらえる、太極拳教室、バドミントン教室、ボクササイズ教室の3種目を取り入れています。

やはり地域の皆様を中心とした活動基盤を築き子供からお年寄りまで笑顔でスポーツに取り組めるそんな環境が町全体に広がって来るのが理想だと感じています。

2010年からは新たにノルディックウォーキングと卓球という2つの種目をさらに増やし、この2つの種目に関しては子供さんというよりは特に高齢者の方を対象にし、介護予防的な効果を期待して、高齢者の生活向上の質を高めていければと考えています。



ヴェルフェたかはら那須

GM 稲若 健志

関東リーグの表彰式が12月12日に東京で行われました。今年は関東2部リーグ優勝、天皇杯栃木県予選優勝の2冠を達成しました。

だが全国社会人予選は屈辱の一回戦負け。一発勝負のトーナメントを苦手としているうちの弱い部分が出た形です。今年の収穫としては天皇杯の2回戦でJリーグの京都と対戦できた事です。やはり上のカテゴリーのチームと試合をやる機会はそうはないと思います。ましてや練習試合ではなく真剣勝負。結果は0-4で負けはしたが、来年に繋がるいい経験になればと思っています。

来年からはいよいよ関東1部リーグに復帰するが同じ県内の日立栃木ウーヴァSCが先日、地域リーグ決勝大会で勝ち上がり、念願のJFL昇格を果たしました。正直先を越された感は否めないが、同じ栃木県内のチームとしては大いに刺激を受けました。

2010年のヴェルフェたかはら那須の目標は関東1部リーグ優勝、天皇杯栃木県大会優勝、そして今年屈辱的な負け方をして本戦出場を逃した、全国社会人大会出場、そして優勝。最大の目標でもあるJFL昇格に向けて1歩でも近づけるように頑張っていきたいと思っています。そのためには日頃からの練習で選手が一生懸命努力しチームの結束力を高めることが不可欠になってくるはず。



2010年、サポーターの皆様にはそんなチーム力という部分を是非見てもらい応援してもらいたいと思っています。

尚、サッカージュニアの方も力を入れて頑張っていますので2010年は是非一步でも県内で優勝できるように頑張ってもらいたいです。



いつかはサッカー強豪国アルゼンチンの様な小さい子供からジュニアユース、ユースまでの育成システムを整え、自分たちの専用スタジアムで練習して週末には地域の皆様が子供を連れてトップチームの試合を見に来るようなそんなクラブになることを目指して行きたいと思っています。



サッカーファミリーフェスティバル2009

9月12日、第2回栃木県サッカーファミリーフェスティバルが栃木県総合運動公園で開催された。



選手宣誓をする津田千明選手

女子連盟の津田千明選手の選手宣誓で始まり、シュートスピード王決定戦、PK選手権、キッズの交流戦や栃木SC・日立UVASC・ヴェルフェたかはら那須のサッカー教室など盛りだくさんのイベントが行なわれた。

当日は雨が降ったり止んだりの不安定な天候であったが約1500名の参加があり、それぞれの休日を楽しんでいた。



PK選手権大会



大会バナー

POCARI SWEAT U-12 サッカーリーグin TOCHIGI



全国に先駆け、4月より地域リーグ戦を開催しました！

日本サッカー協会の方針に基づき、○多くの子どもたちが試合のできる環境をつくる、○試合の勝ち負けにこだわらずチャレンジする選手を育成するなどの理念を受け、熱い戦いが各地区で繰り広げられました！

少年サッカーの大きな目的でもある『普及』と『強化』が同時にねらえるリーグ戦です！このリーグ戦がやがて大きな成果となり、栃木県にサッカー文化が根付くことを期待しております！

開催初年度ということもあり、既存の大会の予選を兼ねたり、過密日程が懸念されたりしておりますが、大いなる野望には大いなる負担が付きものです！各チームのスタッフ、大会運営の皆さんの熱い思いで開催されております！

詳しくは各地区の理事さんにお問い合わせください。
皆様の応援よろしくお願いたします！

第33回全日本少年サッカー大会 栃木県大会

6月6日から6月20日までの4日間にわたり、全国大会の切符をかけ熱戦が繰り広げられました。

開会式に続いて、記念イベントが行われ、リフティング大会や1対1の決戦、ミニゲームなどが行われ、観客からも温かい声援が送られました。



大会は、ともぞうSC対足利FCの決勝戦となりました。1点を争う好ゲームとなりましたが、2点のビハインドをひっくり返したともぞうSCが優勝し、全国大会への切符を手に入れました。



＜優勝のともぞうSC＞

準優勝の足利FCと3位のFC真岡21ファンタジー・呑竜FCが関東少年サッカー大会に出場しました。

海外遠征

8月16日から19日までの3泊4日間、恒例の韓国遠征を行いました。海外への遠征は、試合での貴重な体験はもちろん、オフザピッチ、生活面での経験により、選手の肉体的な成長もみられ、少年の健全育成という大きな目的のためにも大変有意義な行事であります。

試合結果は4勝1敗4分でした。



第38回栃木県少年サッカー選手権大会

10月17日から11月3日の4日間にわたり、県内少年サッカー最大規模である栃木県少年サッカー選手権大会が行われました。全国に猛威をふるったインフルエンザの影響もありましたが、連日熱戦が繰り広げられました。

選手権の部は181チーム、ジュニアの部は地区予選を勝ち上がった64チームが出場しました。

選手権の部は、栃木SCジュニア対ともぞうSCの決勝戦となりました。一進一退の攻防が続き、スコアレスのまま延長戦に突入。延長の後半、ついに栃木SCがゴールをこじ開け、悲願の初制覇を成し遂げました。3位は、富士見SSS・小山羽川SCでした。

ジュニアの部は、ブロック別トーナメントを行い、宇都宮チェルトFC・JFCファイターズが優勝しました。



＜優勝の栃木SCジュニア＞



＜ジュニアの部優勝の宇都宮チェルトFC＞



＜ジュニアの部優勝のJFCファイターズ＞

河内SCジュベニール・井上選手 U-14日本女子選抜に

河内SCジュベニールの井上綾香選手が10月、女子のJFAエリートプログラムとしてU-14日本選抜に選出され韓国遠征（10月16日～21日）に参加しました。井上選手に韓国遠征を振り返ってもらいました。

同世代の韓国の女子代表と試合をして、3戦行い2試合がフル出場、1試合が途中出場でした。監督からは点を入れることと、点に絡むことを指示されフィールドに立ちました。

韓国の選手は身長の高い選手が多くて、フィジカルが強かったです。トップ下やトップをやりましたが、自分のプレーとしては、ドリブルは通用することが分かりました。またパスもつながることができました。自分の出来は課題も見つかったので50点くらいでした。

これからは遠征で学んだことを生かして、河内SCジュベニールでもチームの勝利に結びつくようなプレーができるようになりたいです。そして将来、「なでしこジャパン」に入れるようにこれからも頑張っていきたいです。

【プロフィール】いのうえ・あやか 1995年1月15日生まれ。幼稚園でサッカーを始め、FC氏家を経て、中学1年から河内SCジュベニールへ。08年、U-14日本女子選抜としてベトナム遠征を経験。氏家中3年。160センチ、43キロ。



栃木SCブランカ・三丸選手 ナショナルトレセン入り

栃木SCブランカの三丸郁美選手がこのほど、女子U-15のナショナルトレセンに選出され、12月19日から福島県のJヴィレッジで行われる合宿へ参加することになりました。“全国デビュー”を前に抱負を語ってもらいました。

10月に行われた関東トレセンの後、ナショナルトレセンメンバーの発表がありました。その日の練習では、よいプレーができていなかったのが、名前を呼ばれたときはびっくりしました。

チームではFWをしています。スペースの間に顔を出して、パスを出したり、振り向いてシュートをしたりするのが得意なプレーです。今年1年間、栃木県女子サッカーリーグなどでプレーをしましたが、大人の選手を相手に体を張れず、技術的にもまだまだで、たくさん反省点がありました。

ナショナルトレセンでは、自分の得意なプレーをし



て自分をアピールしたいです。そして将来は、点を取って、みんなに目標とされる選手になりたいです。日本代表を目標に頑張りたいです。

【プロフィール】みつまる・いくみ 1996年8月5日生まれ。小学校時代に大谷北FCでサッカーを始め、中学1年から栃木SCブランカへ。お山第三中1年。153センチ、43キロ。

宇都宮文星女子高・佐藤選手 U-16日本女子代表候補に

宇都宮文星女子高の佐藤亜音選手が5月、U-16の日本女子代表候補に選ばれました。惜しくも最終メンバーには残れませんでした。しかし、「なでしこ」へと続く階段を一步踏み出しました。佐藤選手に候補合宿を振り返ってもらいました。

私が参加した合宿には、全国から30人の選手が集まってきました。私が出場した高校の試合を関係者の方が観てくれて、候補合宿に呼んでくれたようです。選ばれたことはうれしかったのですが、不安もありました。

合宿では周りの選手たちのレベルが高く、トレーニングについていくのがやっとでした。合宿を通し、自分のプレーに自信を持つ大切さを学びました。

これからは細かい技術を高めたり、視野を広めたりして、さらにプレーヤーとして上を目指したいです。また、1日1日の練習を大切にして、宇都宮文星女子高の選手として全国大会に出られるように頑張りたいです。

【プロフィール】さとう・あお 1993年2月3日生まれ。矢場川小でサッカーを始め、中学時代は栃木SCブランカでプレー。167センチ、60キロ。



宇都宮文星女子高 全国へ

第18回全国高校女子サッカー選手権大会で宇都宮文星女子高が6月、関東予選を7位で突破、7年ぶり3度目となる全国大会へ出場しました。

宇都宮文星女子高主将 赤坂 果穂

関東大会では、「この試合に勝たなければ全国はない」という7位決定戦に勝ち、決まったときはとてもうれしかったです。その試合、私はけがで試合に出ていませんでしたが、チームメイトたちの「勝ちたい」という気持ちがフィールドの外にも伝わってきました。

全国大会では、1回戦で神村学園高等部（鹿児島）に敗れました。全国大会に出てくるチームの強さを知りました。また自分たちの小ささも実感しました。後輩たちには、また全国大会に出場してもらいたいと思っています。自分たちは初戦で敗れましたが、後輩たちはそれ以上の成績が残せるよう、頑張ってもらいたいです。

宮川亮子選手 日本代表に

本県を代表する女子フットサルチーム・Amaralo/峰FCに所属する宮川亮子選手が10月、フットサル女子の日本代表に選出され、ベトナムで行われた第3回アジアインドアゲームスに出場しました。宮川選手は女子日本代表初編成となった2007年に続く代表入りで、チームも07年に続き大会2連覇を飾りました。宮川選手に大会を振り返ってもらいました。

前回の大会から連続で日本代表に選出されたのは私を含め6人でした。事前に何回かの合宿もあったため、大会を通してチームの雰囲気もよく、予選リーグでイランに敗れましたが「優勝が消えたわけではない」と、切り替えられたことが大きかったですね。

自分としては、前回大会よりも長時間、出場することができました。予選リーグ2試合、準決勝、決勝とすべての試合でコートに立つことができました。前回よりもチャンスがたくさんあった中で、点を取れなかったことは残念です。ポジションは峰FCではアラ（中盤の選手）をしていますが、代表ではピヴォ（トップの選手）を任されました。慣れないポジションでしたが、チームのためになるプレーを心掛けました。

今回の遠征では、代表の中での自分の役割が明確になりました。同時に課題も見つかりました。また2年後の大会で日本代表の編成があります。代表で得た知識をチームに還元しながら、次回もまた選出されるよう頑張っていきたいです。

【プロフィール】みやかわ・りょうこ 1981年2月5日生まれ。読売メニーナ、日体大などでサッカーのキャリアを積む。現在、フットサルポイント・サル宇都宮に勤務、ジュニアのスクールマスターなどを務める。170センチ、58キロ。

PHQで初の普及イベント

本年度、フットサル連盟発足以来、初のPHQ支援制度に応募し、フットサルの普及推進イベントを行うことになりました。大きく分けて柱は「指導者養成」「女子の競技人口拡大」「栃木県フットサルリーグの周知PR」の3本。

このうち「女子の競技人口拡大」を目的とするイベントを8月30日に宇都宮市スケートセンターで実施しました。公式戦に出ていない女子プレーヤーを含め約60人の参加がありました。

参加者は、午前中はフットサル女子日本代表の宮川亮子選手を講師に招いて、初心者での楽しめるフットサルクリニックを実施。午後はミニゲームで汗を流しました。連盟としては初めての普及イベントで至らぬ点などもありましたが、参加者からは「またやって欲

しい」という声なども多く聞かれました。

また「リーグの周知PR」では、リーグ戦の日程を掲載したウチワを作成、リーグ加盟チームなどを通し広く一般に配布、広くリーグの周知を行いました。

栃木女子選抜を初編成

昨年度から女子選抜チームの都道府県対抗大会となる「トリムカップ全国女子選抜大会」が創設されました。本県女子選抜チームも関東地区予選に合わせ初編成し、2月1日、栃木市体育館で行われた関東大会に臨みました。

“初代”の選抜チームは、県内の4チームから20人を選出しチームを編成、1枚しかない「全国切符」を目指しました。

神奈川との対戦となった予選リーグ初戦は、栃木が競り合いを制し2-1で初陣を飾りました。しかし第2戦の埼玉戦では0-3と敗れ、予選リーグ1勝1敗で決勝進出はなりませんでした。

本年度は12月26日に東京で関東大会が行われる予定で、既に12月上旬の段階で15人のメンバーを選出、大会に備えています。予選リーグでは東京、埼玉という強豪チームと対戦しますが、臆せず戦い全国大会出場を勝ち取りたいと思っています。



2008年の栃木女子選抜メンバーたち

フットサル振興で“官民交流”

県内のフットサル振興を目的とした情報交換会を12月2日、宇都宮市内で初開催しました。当日は、県内の民間フットサルコートの関係者やフットサルを支えてくれている地区協会関係者らを招き、栃木県リーグや連盟の活動内容などを紹介しました。

このような“官民交流”は全国的にも珍しい試みです。「県内のフットサルをみんなで盛り上げよう！」をコンセプトに、3時間ほどお互いの情報や意見を交換しました。会合は予想以上に内容の濃いものとなり、「将来的に連盟と民間コートが協力し合い大会創設ができないか」などと、踏み込んだ議論などにもなりました。

フットサル連盟としては、これらの意見を生かし、県内のフットサル競技人口拡大に結びつくような新たな事業展開を図っていきたくて考えています。

審判委員会からのお知らせ

審判委員長 村上 修

日ごろより、皆様には審判委員会の各種事業の推進に当たり特段の御理解と御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、次のことについてお知らせしますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

改正部分については、平成22年4月1日より適用されます。

○ 「リスペクトプロジェクト」の推進について

JFAでは、サッカーに関わる全ての人がフェアプレーの原点である相手を大切に思うこと、相手に思いやりをもつこと、競技規則を守ること、審判の判定を尊重することなどを通し、お互いがリスペクト（大切に思うこと）することによって、清々しい、皆が楽しめるサッカーを創造できるように「リスペクトプロジェクト」を推進しています。

その一環として、審判員は平成21年10月1日から胸章の他、JFAの推進するリスペクトプロジェクトの徽章を右胸、または左右いずれかの袖に着用しなければならなくなりました。

○ 3級審判員資格取得審査会（3級審判員昇格審査会）における特例コースの一部が、次のとおり一部改正になりました。

『ユース年代以上の全国大会、関東大会等（フットサル大会は除く）に出場または登録（監督・コーチも含む）された者や過去に3級審判員以上の資格を取得し、2年以上失効してしまった者に対しては、第一次審査が免除される。但し、それを証明する資料（大会プログラムや審判員証等）が必要。』

○ 3級審判員（フットサルも含む）の登録更新について、次のとおり一部改正になりました。

『期間内に未更新の場合には資格は失効し、新た

に3級審判員資格を取得する。但し、何らかの理由等で更新講習会が受講できなかった場合は、失効後1年以内に行う3級審判員取得審査会（昇格審査会）において、競技規則テストと体力テストに合格すれば3級審判員資格が認められる。』

『4級審判員に降格したい場合は、その旨を県協会審判委員会に事前に連絡する。』

○ 2級審判員の降格希望について、次のとおりになりました。

『3級、4級審判員に降格したい場合は、その旨を県協会審判委員会に必ず事前に連絡する。』

トップレフェリーセミナーの開催について

審判委員会指導部 高山 啓義

平成21年度の審判委員会指導部の事業としてトップレフェリーセミナーを開講した。開講の目的は、次の2つである。

① 全国大会や関東大会に派遣されている或いは派遣される可能性のある2級審判員に指導、育成を行い、各種大会で常に主審に割り当てられ高い評価を得るスキルを学んでもらうこと。

② 各種別の指導的な立場の審判員の方にも受講してもらい、各種大会で常に主審に割り当てられ高い評価を得るスキルを多くの審判員に伝達してもらうこと。

トップレフェリーセミナーは大栗克元前審判委員長時代に実施されており、名称を継承し、今回はいわば中断を経ての復活である。私をはじめ、手塚洋氏、相楽亨氏の現在県内3名の国際審判員全員が、2級審判員時代にこのセミナーの受講生であった。

トップレフェリーセミナーの内容は、主に高校生の試合を使って試合後のレフェリング分析である。レフェリング分析は、ビデオを使用して1時間～1時間半行われる。講師は3名の国際審判員

が担当し、各自の経験に基づいた指導をするようにしている。ポイントは、各自が普段Jリーグや海外の試合に行っているスキルを余すことなく受講生にしっかり伝えることである。例えば、FK時の動き方や方法、小競り合い等へのマネージメントなどの対処法である。このようなことを知っているかいないかで、適切な対応の仕方が違ってくる。そのような実践的な指導を行うことによって、上級大会において良いパフォーマンスが自信をもって発揮できるようになってほしいと思う。

また、種別の指導的な立場の審判員に対しては、セミナーの内容を各種別の審判員に継続的に伝達していただくことにより、セミナーの内容が多くの方々に浸透して本県審判員の資質の向上に大いに寄与してほしいと思う。

トップレフェリーセミナーは毎回限られた人数のため一斉に行うことができないが、年に何回かは試合でなく受講者を集めての全体研修も行いたいと思う。

各方面より様々なアドバイスをいただきながら、試行錯誤をとおして本県審判員にとって有益なものになると信じ努力していきたいと思う。

☞☞☞ 県内審判員の皆様へ ☞☞☞

審判員の登録更新、新規取得講習会については県協会のHPを御覧ください。

4級審判員の県内での更新講習会を受講できない方は、JFAラーニングで更新を行ってください。(期限内に必ず終了するように御注意ください。)

24時間マラソンサッカー

宇都宮サッカー協会理事長 町田 文男

【1】趣旨

「継続は力なり」という言葉があります。宇都宮サッカー協会も創立60周年を迎え、早々に実行委員会を立ち上げ検討を重ね記念事業の一環として「24時間マラソンサッカー」を企画し、キッ



ズからジュニア・ユース・シニア・女子の選手が一堂に会し各連盟が連携してサッカーを楽しみたいと考えました。サッカーを愛好する選手が喜んで参加して頂いて一つのボールを蹴ることで60年の歴史を噛み締めて頂けるものと実

施に踏み切りました。



鎌倉三郎会長の開会宣言

【2】「24時間マラソンサッカー」スケジュール

日時：9月21日15:00～22日15:00まで

会場：宇都宮市屋板運動場

日程：9月21日(月)敬老の日

15:00～15:30

開会式・PK戦(大会役員VSユース代表)

15:30～19:00

高校連盟(4チームによる親善試合)

19:00～23:00

シニア連盟・女子連盟(9チームによる親善試合)

23:00～

社会人連盟(10チーム・個人参加選手による交流戦)

9月22日(火)国民の休日

～8:00

社会人連盟

8:00～11:00

中学連盟(3チームによる親善試合)

11:00～13:00

少年連盟(栃木SCスタッフによるサッカースクール・100名参加)

13:00～14:00

少年連盟(第35回宇都宮市長杯少年サッカー大会決勝戦)

14:00～14:30

親善試合(大会役員VS少年選手代表)

14:30～15:00

閉会式(市長杯表彰・創立60周年記念事業式典)



オープニングゲーム前の集合写真

【3】総評

「24時間マラソンサッカー」実施にあたり、まず開催時期の設定、天候の安定する時期、夜間のトラブル等、非常時に対応する対策、24時間ということでグラウンドの設定、その上その近隣自治会への対応、看護師、救急対策としての南消防署、宇都宮南警察署、救急病院への配慮、栃木SCサッカースクールの支援、ボランティアによる出店の支援、大会を運営する審判委員会の献身的な協力等実際に一つの記念事業を実行することで多方面の対応を余儀なくされました。

勿論、県協会・宇都宮市・市教育委員会・市体育文化振興公社・下野新聞への協力依頼をお願いし、その上さらに資金面の支援を各企業又個人への協力金の拠出でこころよく温かいご支援を賜りましたことでスムーズな運営の実施が可能になりました。

開催日が迫る中、台風14号が本土接近上陸の可能性がある中、我に天は味方してくれました。

二日間快晴の中「24時間マラソンサッカー」は感動のうちに終始し、成功裡に無事予定通りに終了することが出来たのもご理解頂いた関係各位な

らびに宇都宮サッカー協会の常日頃熱心にご指導している役員の皆様の多大なご協力、ご支援を賜りましたおかげと感謝申し上げます報告にかえさせていただきます。

生涯スポーツ優良団体受賞

鹿沼市サッカー協会は、このたび生涯スポーツ優良団体として「文部科学大臣表彰」を受賞いたしました。

この賞は、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げた生涯スポーツ団体を表彰するもので今年度は全国でスポーツクラブが66団体、スポーツクラブ以外の団体61団体の127団体が受賞している。

鹿沼市サッカー協会は、昭和48年に鹿沼工業団地が整備されたのをきっかけに設立された。昭和63年には県内市町村協会ではあまり開催されていなかった「サッカーフェスティバル」を開催し、現在も続いている。平成17年には「鹿沼アクションプラン2005」を策定し、11のプランと41の事業を決めサッカーの普及や競技者の増加、競技力の向上等の策の方針を立て、実施するための目標を設定している。

また、平成18年にはJFA公認の人工芝サッカー場が完成し、サッカー人口の拡大を図っている。

設立以来36年、サッカースポーツの普及、強化活動が続け、その活動が鹿沼市民の生涯スポーツの推進や健康、体力の増進等に貢献していることが受賞事由と思われれます。今後ますますの活躍を期待します。



TFAユースサッカーリーグU-18栃木2009 1部リーグ結果

	真岡	宇都宮 白楊	栃木SC ユース	國學院 栃木	白鷗 足利	小山南	宇短大 附属	さくら 清修	勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
真岡	△	0-0	1-4	3-0	2-2	3-0	6-0	1-0	4	1	2	14	10	16	6	3
宇都宮 白楊	△	△	0-6	2-0	4-3	3-1	2-1	1-0	5	1	1	16	1	12	11	2
栃木SC ユース	○	○	△	2-2	5-0	6-0	2-1	3-0	6	0	1	19	24	28	4	1
國學院 栃木	×	×	△	△	0-5	0-0	0-4	2-4	0	5	2	2	-16	4	20	8
白鷗 足利	△	×	×	×	△	0-2	3-1	1-0	3	3	1	10	0	14	14	4
小山南	×	×	×	△	○	△	○	○	3	3	1	10	-5	8	13	5
宇短大 附属	×	×	×	○	×	×	△	△	1	5	1	4	-7	10	17	6
さくら 清修	×	×	×	○	×	×	△	△	1	5	1	4	-7	6	13	7

以上の結果より、JFAプリンスリーグ関東2010・2部リーグ参入決定戦に「栃木SCユース」が参戦決定！
勝利すると、JFAプリンスリーグ関東2010・2部リーグ参入いたします

参入決定戦開催日時：2010年2月14日(日) 10:30 キックオフ
会場：鹿島ハイツ スポーツプラザ No.4 サッカー・ラグビー場
栃木SCユース vs 川崎フロンターレU-18

TFAユースサッカーリーグU-18栃木2009 2部リーグ結果

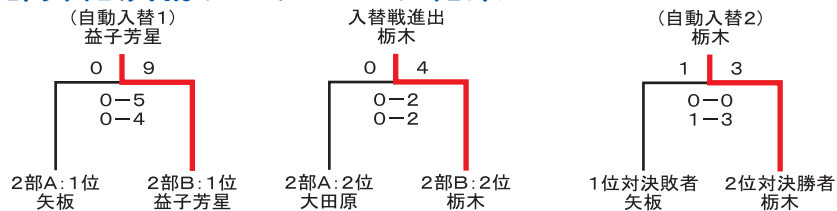
Aグループ

	宇都宮 東	黒磯	今市 アルオーネ	今市	小山	大田原	足利	矢板	勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
宇都宮 東	△	4-1	1-1	11-0	0-3	2-1	4-1	1-3	4	2	1	13	13	23	10	4
黒磯	×	△	0-1	5-1	0-4	1-4	1-0	2-3	2	5	0	6	-7	10	17	6
今市 アルオーネ	△	○	△	3-0	0-2	2-3	0-0	3-3	2	2	3	9	1	10	9	5
今市	×	×	×	△	1-1	0-2	1-1	2-3	0	5	2	2	-21	5	26	8
小山	○	○	○	△	△	3-4	1-1	4-0	4	1	2	14	12	18	6	3
大田原	×	○	○	○	○	△	2-1	3-4	5	2	0	15	6	19	13	2
足利	×	×	○	△	△	1-2	○	0-2	0	4	3	3	-7	4	11	7
矢板	○	○	△	○	×	○	○	○	5	1	1	16	3	18	15	1

Bグループ

	益子 芳星	栃木	宇都宮 北	鹿沼東	小山西	文星芸大 附属	佐野 松陽	那須	勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
益子 芳星	△	1-1	2-1	8-1	3-1	4-1	1-0	18-1	6	0	1	19	31	37	6	1
栃木	△	△	0-0	6-0	3-0	5-0	0-2	5-0	4	1	2	14	17	20	3	2
宇都宮 北	×	△	△	1-2	1-1	0-3	1-1	5-0	1	3	3	6	0	9	9	6
鹿沼東	×	×	○	△	0-7	1-3	0-6	0-0	1	5	1	4	-27	4	31	7
小山西	×	×	△	7-0	△	1-1	1-3	5-0	2	3	2	8	5	16	11	5
文星芸大 附属	×	×	○	○	△	△	4-2	6-0	4	2	1	13	5	18	13	4
佐野 松陽	×	○	△	6-0	3-1	2-4	○	6-0	4	2	1	13	13	20	7	3
那須	×	×	×	△	×	×	×	×	0	6	1	1	-44	1	45	8

1部昇格決勝トーナメント結果



以上の結果より、TFAユースサッカーリーグ栃木2009-2010 1部リーグに「益子芳星高校」「栃木高校」の参戦決定！

TFAユースサッカーリーグU-18栃木2009 3部リーグ結果

Aグループ (北部)

	宇都宮B	烏山	矢板中央B	宇都宮工業B	高根沢	那須清峰	那須拓陽		勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
宇都宮B		0-2 x	0-3 x	4-2 ○	2-2 △	0-1 x	1-0 ○		2	3	1	7	-3	7	10	4
烏山	2-0 ○		1-4 x	4-2 ○	3-6 x	1-2 x	2-4 x		2	4	0	6	-5	13	18	5
矢板中央B	3-0 ○	4-1 ○		4-1 ○	7-0 ○	5-0 ○	1-0 ○		6	0	0	18	22	24	2	1
宇都宮工業B	2-4 x	2-4 x	1-4 x		1-4 x	1-4 x	1-0 ○		1	5	0	3	-12	8	20	7
高根沢	2-2 △	6-3 ○	0-7 x	4-1 ○		2-3 x	5-3 ○		3	2	1	10	0	19	19	3
那須清峰	1-0 ○	2-1 ○	0-5 x	4-1 ○	3-2 ○		5-0 ○		5	1	0	15	6	15	9	2
那須拓陽	0-1 x	4-2 ○	0-1 x	0-1 x	3-5 x	0-5 x			1	5	0	3	-8	7	15	6

Bグループ (中部①)

	上三川	宇都宮清陵	鹿沼	宇都宮工業	栃木工業B	石橋	宇都宮商業		勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
上三川		0-11 x	2-2 △	2-3 x	5-2 ○	1-1 △	2-0 ○		2	2	2	8	-7	12	19	4
宇都宮清陵	11-0 ○		5-2 ○	5-5 △	5-0 ○	5-2 ○	4-1 ○		5	0	1	16	25	35	10	1
鹿沼	2-2 △	2-5 x		3-2 ○	1-1 △	3-0 ○	3-2 ○		3	1	2	11	2	14	12	3
宇都宮工業	3-2 ○	5-5 △	2-3 x		7-0 ○	1-0 ○	3-2 ○		4	1	1	13	9	21	12	2
栃木工業B	2-5 x	0-5 x	1-1 △	0-7 x		1-3 x	0-5 x		0	5	1	1	-22	4	26	7
石橋	1-1 △	2-5 x	0-3 x	0-1 x	3-1 ○		3-2 ○		2	3	1	7	-4	9	13	5
宇都宮商業	0-2 x	1-4 x	2-3 x	2-3 x	5-0 ○	2-3 x			1	5	0	3	-3	12	15	6

Cグループ (中部②)

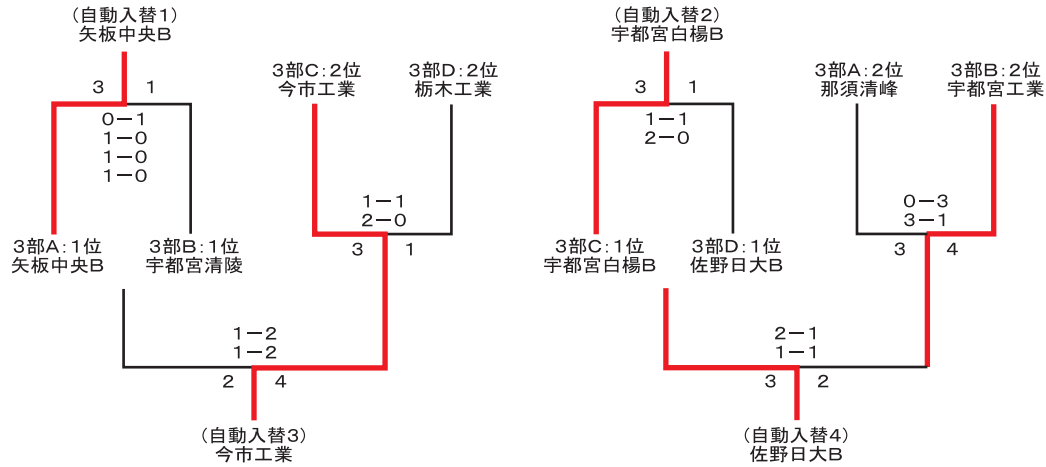
	宇都宮	今市工業	作新学院	宇都宮南	茂木	合同	宇都宮白楊B	那須清峰B	勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
宇都宮		2-3 x	3-4 x	5-0 ○	3-0 ○	10-0 ○	1-3 x	1-1 △	3	3	1	10	14	25	11	4
今市工業	3-2 ○		2-1 ○	3-1 ○	1-0 ○	5-0 ○	0-2 x	2-0 ○	6	1	0	18	10	16	6	2
作新学院	4-3 ○	1-2 x		6-2 ○	0-0 △	13-0 ○	1-2 x	1-0 ○	4	2	1	13	17	26	9	3
宇都宮南	0-5 x	1-3 x	2-6 x		0-3 x	7-0 ○	0-2 x	2-0 ○	2	5	0	6	-7	12	19	6
茂木	0-3 x	0-1 x	0-0 △	3-0 ○		7-0 ○	0-1 x	2-0 ○	3	3	1	10	7	12	5	5
合同	0-10 x	0-5 x	0-13 x	0-7 x	0-7 x		0-25 x	0-3 x	0	7	0	0	-70	0	70	8
宇都宮白楊B	3-1 ○	2-0 ○	2-1 ○	2-0 ○	1-0 ○	25-0 ○		2-0 ○	7	0	0	21	35	37	2	1
那須清峰B	1-1 △	0-2 x	0-1 x	0-2 x	0-2 x	3-0 ○	0-2 x		1	5	1	4	-6	4	10	7

*合同：粟野高校・鹿沼農業高校・鹿沼南高校の合同チーム

Dグループ (南部)

	栃木工業	青藍泰斗	佐野	足利工業	栃木翔南	足利清風	佐野日大B	小山南B	勝	負	引	勝点	得失差	総得点	総失点	順位
栃木工業		4-1 ○	2-2 △	7-1 ○	5-0 ○	5-1 ○	2-0 ○	1-1 △	5	0	2	17	20	26	6	2
青藍泰斗	1-4 x		1-0 ○	3-2 ○	2-1 ○	2-2 △	0-1 x	1-4 x	3	3	1	10	-4	10	14	4
佐野	2-2 △	0-1 x		1-1 △	2-0 ○	0-1 x	0-3 x	0-4 x	1	4	2	5	-7	5	12	6
足利工業	1-7 x	2-3 x	1-1 △		4-1 ○	2-2 △	0-5 x	2-4 x	1	4	2	5	-11	12	23	7
栃木翔南	0-5 x	1-2 x	0-2 x	1-4 x		1-1 △	0-6 x	0-5 x	0	6	1	1	-22	3	25	8
足利清風	1-5 x	2-2 △	1-0 ○	2-2 △	1-1 △		0-7 x	0-4 x	1	3	3	6	-14	7	21	5
佐野日大B	0-2 x	1-0 ○	3-0 ○	5-0 ○	6-0 ○	7-0 ○		2-0 ○	6	1	0	18	22	24	2	1
小山南B	1-1 △	4-1 ○	4-0 ○	4-2 ○	5-0 ○	4-0 ○	0-2 x		5	1	1	16	16	22	6	3

2部昇格決勝トーナメント結果



以上の結果より、TFAユースサッカーリーグ栃木2009-2010 2部リーグに参戦決定！

- ・矢板中央高校B
- ・宇都宮白楊高校B
- ・今市工業高校
- ・佐野日本大学高校B

TFAユースサッカーリーグ栃木2009-2010 (前期) 参加チーム

2009年12月～実施

(順不同)

1部リーグ(8チーム)

- ・真岡高校
- ・宇都宮白楊高校
- ・栃木SCユース
- ・白鷗足利高校
- ・小山南高校
- ・宇短大附属高校
- ・益子芳星高校
- ・栃木高校

2部リーグ(16チーム)

- | | |
|--------------|--------------|
| Aグループ | Bグループ |
| ・さくら清修高校 | ・國學院栃木高校 |
| ・宇都宮東高校 | ・今市アルシオーネ |
| ・黒磯高校 | ・小山高校 |
| ・大田原高校 | ・矢板高校 |
| ・小山西高校 | ・宇都宮北高校 |
| ・佐野松陽高校 | ・文星芸大附属高校 |
| ・宇都宮白楊高校B | ・矢板中央高校B |
| ・今市工業高校 | ・佐野日本大学高校B |

3部リーグ(29チーム)

- | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| aグループ(北部) | bグループ(中部①) | cグループ(中部②) | dグループ(南部) |
| ・宇都宮高校B | ・上三川高校 | ・宇都宮清陵高校 | ・栃木工業高校 |
| ・烏山高校 | ・宇都宮工業高校 | ・鹿沼高校 | ・足利高校 |
| ・宇都宮工業高校B | ・鹿沼東高校 | ・石橋高校 | ・青藍泰斗高校 |
| ・高根沢高校 | ・宇都宮商業高校 | ・今市高校 | ・佐野高校 |
| ・那須清峰高校 | ・作新学院高校 | ・宇都宮高校 | ・足利工業高校 |
| ・那須拓陽高校 | ・茂木高校 | ・宇都宮南高校 | ・足利清風高校 |
| ・矢板中央高校C | ・那須清峰高校B | ・栃木翔南高校 | ・小山南高校B |
| | | | ・足利工業大学附属高校 |

学校名が変わりました!!

サッカー部 顧問 藤田 将輝
顧問 日向野 晃

平成21年4月より粟野高校と鹿沼農業高校の統合により、鹿沼市みなみ町の鹿沼農業高校の地に、鹿沼南高校が開校しました。普通科2、農業学科2、家庭学科1の5クラス200名の総合選択制の学校です。

開校と同時にサッカー部もスタートを切りました。現在、粟野高校、鹿沼農業高校、鹿沼南高校の生徒が合同で活動しています。

現在、サッカーの大好きな生徒たち14名が練習や試合に取り組んでいます。まずは公式戦1勝を目指します。



新しいユニホーム

平成21年度 (社)栃木県サッカー協会賛助会員ご芳名 (敬称略)

奥澤 直人	栃木信用金庫
円印刷株式会社	小坂 忠司
やしお観光バス株式会社	加藤 一男
(有) シノザキスポーツ	野木 S S S
ユー福祉タクシー	F C 清原 2 0 0 8
武石 秀夫	F C スポーツ 宇都宮
檜山 達夫	宇都宮チェルト F C 根岸 誠一
宇都宮サッカー協会	いちかい
染谷 百合子	佐野日大高校サッカー部保護者会
泉 F C 宇都宮	河内 S C ジュベニール
F C ブロケード	宇都宮北高サッカー部 O B 会
北山 亮	天満屋 庄三
F C 西那須 2 1 槻沢	大内中学校サッカー部 保護者会
御厨フットボールクラブ	小山城南中学校サッカー部
滝の原サッカー O B 会	宇都宮大学サッカー部 O B 会
小池 一規	東那須野サッカースポーツ少年団 高秀 四郎
二又 春美	宇東高サッカー部 親の会
大谷東 F C 父母会	真岡 S C アーギア O B 会
鹿沼フットボールクラブ O B 会	安達 賢二
セレソン宇都宮 S C	プログレッソ佐野 F . C .

オフィシャルサプライヤー
ミズノ株式会社

< 編集後記 >

一昨年の年末、県協会の前事務局次長である谷田部奈雅子さんが急死された。52歳の若さであった。彼女の功績は県協会の社団法人化や女子サッカーの活性化、キッズの普及等たくさんあるが、彼女は J F A スポーツマネージャーズカレッジ (S M C) の 1 期生として県内はもとより全国で活躍されていた。私もここでは書ききれないくらいたくさんの方の事を教えていただいた。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(文責:記録広報委員長 川端宏之)